

# 道徳教科化の問題点

森友教育の行き着く先 安倍教育の集大成



# 道徳の「筆頭教科化」

- ①「学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育とその要としての道徳の時間」
- ②「校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導」
- ③「道徳教育推進教師を中心とした指導体制」。

日常生活

各教科

特別活動

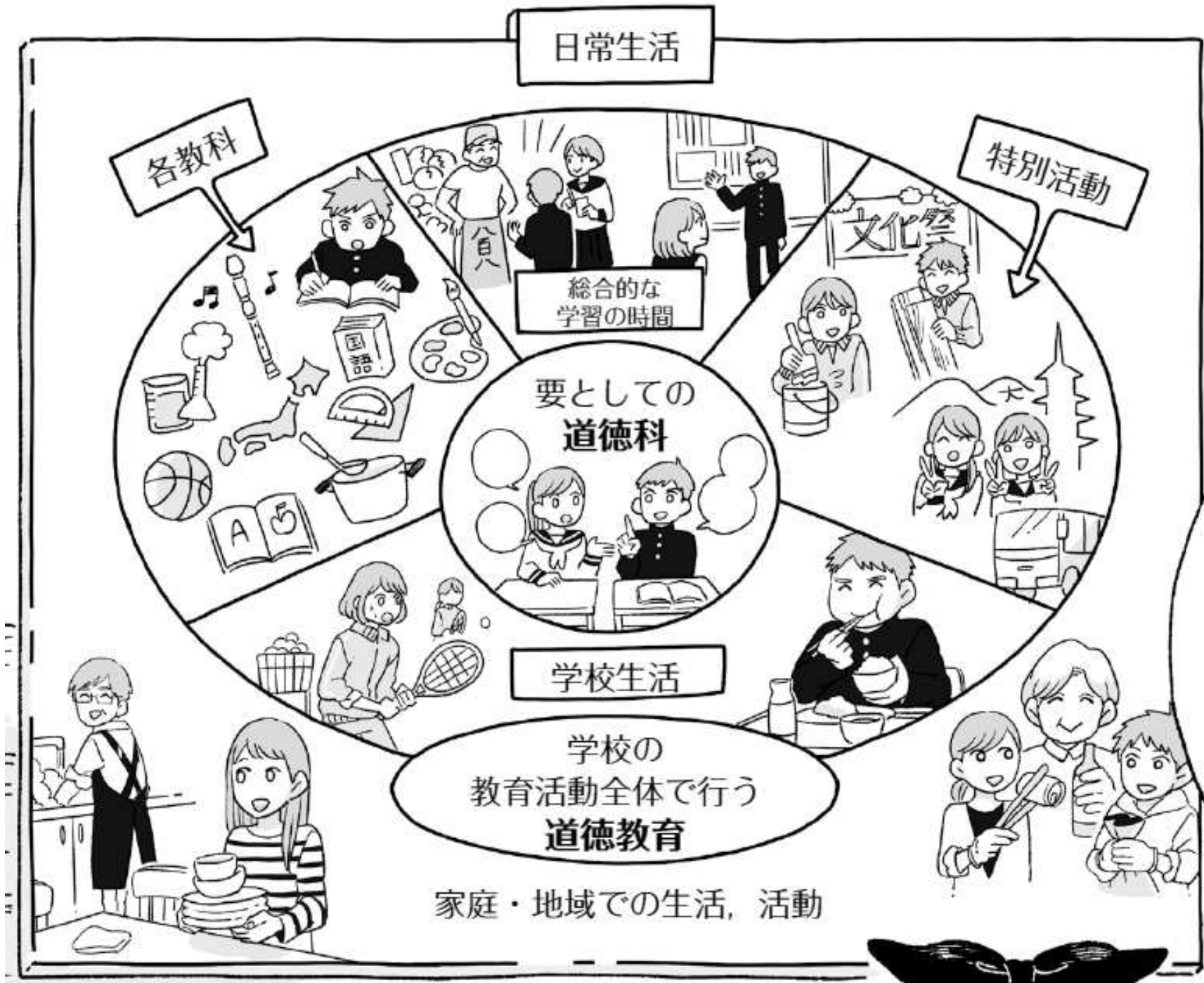
総合的な  
学習の時間

要としての  
道徳科

学校生活

学校の  
教育活動全体で行う  
道徳教育

家庭・地域での生活, 活動



# 指導要領の「徳目」の恣意性と細分化（22個）、低学年での豊富化

A 主として自分自身に関すること。

「善悪の判断、自律、自由と責任」 「正義、誠実」 「節度、節制」

「個性の伸長」 「希望と勇気、努力と強い意志」 「真理の探究」

B 主として人とのかかわりに関すること。

「親切、思いやり」 「感謝」 「礼儀」 「友情、信頼」 「相互理解、寛容」

C 主として集団や社会とのかかわりに関すること。

「規則の尊重」 「公正、公平、社会正義」 「勤労、公共の精神」

「家族愛、家庭生活の充実」 「よりよい学校生活、集団生活の充実」

「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」 「国際理解、国際親善」

D 主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること。

「生命の尊さ」 「自然愛護」 「感動、畏敬の念」 「よりよく生きる喜び」

## 徳目の恣意的選択

「人権」「平等」「自治」「平和」「共同」  
「国民主権」「意見表明権」など、

憲法、子どもの権利条約に規定された項目  
がない。

## いくつかのキーワード

(中学校道徳学習指導要領の「解説」より)

- ▶ 「他者や集団・社会との関わりの中で**自制し生きていく**ことができる自己を確立」
- ▶ 「社会生活の秩序と規律を維持するためには、**自らに課せられた義務や責任**を確実に果たすことが大事」
- ▶ 「**最低限の規範意識**を確実に身に付けさせる」
- ▶ 「**法やきまりの意義**やそれらを**遵守することの意味**を理解」
- ▶ 「**社会の秩序と規律**を自ら高めていこうとする**意欲や態度**を育てる」
- ▶ 「**国際社会に生きる日本人としての自覚**」
- ▶ 「**国家の発展に努める日本人として、主体的に生きようとする態度**」

# 検定教科書＝学習指導要領に厳格に従った事実上の 国定化への道

①学習指導要領に示された題材を全て取り上げることが規定。

②政府見解に反する問題を取り上げさせない規制

「多様な見方や考え方のできる事柄を取り上げる場合には、その取り上げ方について特定の見方や偏った取り扱いはされておらず公正であるとともに、・・・。」  
(検定基準)

③学習指導要領の「内容項目」との関連を明示すること

「主な記述（読み物教材など）については、学校での指導上の観点から、教科書上、道徳科の内容項目との関係が明示されていることが必要である。」

## 2017年道徳教科書検定結果

道徳教科書に対する検定意見は244件

「指導要領が定めた内容の項目を網羅して取り上げていない」

「記述内容と指導要領の項目の関係を明示する要件を満たしていない」

学習指導要領の項目だけでなく、要領の具体的説明内容に厳密に従った記述を要求

授業方法への介入

読み物教材の冒頭か末尾に、徳目の誘導する設問を入れていないと検定意見がつく



# 「評価」は何をもたらすか？

## 道徳教える人はよく考えて

高校生 栄田 孝子

(山口県 17)

小中学校の道徳が「教科外の活動」から「特別の教科」に格上げされる見通しだ。小学3年生の道徳の授業を思い出した。

売れないマジシャンが大きな仕事を断り、先に約束をしていた子どもにマジックを見せに行くと、という物語が題材だった。先生に「あなたなら仕事と子どもどちらをとりますか」と聞かれ、私は「子どもをとりま

道徳の授業で正解はない、と先生は言われていたのに、私の答えは間違っている、と言われたようでショックを受けた。私は道徳の授業では、自分の考えより、先生が求めていると思われる答えを言うようになった。

普通の授業も大事だが道徳という、心を考える授業も大事だ。最近、電車内でのマナーやいじめなど、道徳の重要性について考えさせられることが多い。子どものうちに教えられることは影響が大きい。道徳を教える側はそのことをもっと自覚し、子どもの目線になって考えてほしい。そして、価値観の押しつけにならないよう、気をつけてほしい。

2014.11.6

# 「宗教的情操」を結論として道徳教育全体を構成

## ＜現行学習指導要領＞

1. 主として自分自身に関すること。
2. 主として他の人とのかかわりに関すること。
3. 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。
4. 主として集団や社会とのかかわりに関すること。

## ＜新学習指導要領＞

- A 主として自分自身に関すること。
- B 主として人とのかかわりに関すること。
- C 主として集団や社会とのかかわりに関すること。
- D 主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること。

## 「愛国心」の強調

- ▶ 小学校 1 年から「愛国心」を追加
- ▶ 指導内容の重点化 = 5・6年と中学校で「愛国心」を重点化
- ▶ 5・6年生、中学生の「指導の要点」で国旗・国歌の尊重をはじめて明記

# 社会問題を個人の心情や態度の問題として解決させるよう誘導

「いじめの問題なども人間の弱さが起因」

「所属する一人一人が確かな自己実現を図ることができる社会を実現するためには、そのような人間の弱さを乗り越えて、自らが正義を愛する心を育むようにすることが不可欠である。」

(学習指導要領「解説」より)

# 新学習指導要領に基づく 小学校道徳教科書の特徴

- ▶ 教育基本法第2条、「私たちの道徳」との関連を重視した構成
- ▶ 「人物伝」「著名人」のエピソードの多用＝修身で用いた子どもも感化の手法の復活
- ▶ 「読み物作品」が徳目を読み取る手段として登場。

# 道徳⑥ 明日をめざして

## 資料一覧

	指導内容	資料名	ページ
1	(1) 節度ある生活態度	19 お母さん、お願いね	90
		29 「すんまへん」でいい	138
	(2) 不とう不屈、希望、勇気	1 心をつなく音色	6
		32 夢	152
	(3) 自由・責任	5 修学旅行の夜	22
	(4) 誠実、明朗	13 手品師	62
(5) 真理、創意工夫、進取	35 まんがに命を	167	
2	(1) 礼儀	27 あこがれのパティシエ	127
		3 江戸しぐさ	14
	(2) 思いやり、親切	7 車いすでの経験から	32
		28 心に通じた「どうぞ」のひとつこと	134
	(3) 信頼友情、男女の協力	12 言葉のおくりもの	55
		16 ばかじゃん!	76
(4) 寛容、謙虚	17 銀のしょく台	81	
(5) 尊敬感謝	11 土石流の中で教われた命	50	
3	(1) 生命の尊重	4 命の重さはみな同じ	17
		21 お母さんへの手紙	100
		31 東京大空襲の中で	146
	(2) 自然愛、動植物愛護	6 愛華さんからのメッセージ	26
		15 タマゾン川	70
	(3) 敬けん	25 夜空——光の旅	118
33 青の洞門		156	
4	(1) 公德心、規則の尊重、遵法、権利・義務	9 ピアノの音が……	40
		14 空きかんのゆくえ	66
	(2) 公正公平、正義	22 田中正造	104
		2 キャプテンとして	10
	(3) 社会的役割の自覚と責任	18 小さな連絡船「ひまわり」	86
		8 うちら"ネコの手"ボランティア	36
	(4) 勤労、社会への奉仕	34 桜守の話	162
		26 おばあちゃんのさがしもの	122
	(5) 家庭愛	23 せんばいの心を受けついで	108
	(6) 愛校心	24 白神山地	113
30 新しい日本に		142	
(7) 郷土愛、愛国心	10 白旗の少女	44	
	20 義足の聖火ランナー	93	
(8) 国際理解と親善	● 「けいたい電話を持たせない」	175	
	情報モラル 1-(1) 節度ある生活態度		

学習指導要領の「徳目」との対応

# 「人物伝」「著名人」のエピソードの多用 = 修身で用いた子どもも感化の手法の復活

「私たちの道徳」で取り上げられている人物

## ■登場する主な人物と狙い

人物	教える「道徳」	学年
二宮金次郎	勉強や仕事をしっかりと	低学年
日野原重明	温かい心・親切	
フェアブル	動植物に優しい心	
澤穂希	粘り強くやり遂げる	中学年
リンカーン	正直	
葛飾北斎	美しいものに感動する心	
石川啄木	愛郷心	
小泉八雲	日本の伝統と文化を尊重	
内村航平	努力	高学年
吉田松陰	誠実	
松下幸之助	感謝	
マザー・テレサ	公正、公平	
坂本龍馬	日本人としての自覚	
松井秀喜	強い意志	中学生
曾野綾子	誠実	
山中伸弥	自己の向上	
孔子	寛容	
嘉納治五郎	国際的視野	

# 「読み物作品」が徳目を読み取る手段として登場。 マザーテレサの取り上げ方を例に

## □ 「私たちの道徳」

「公正、公平、正義の実現」

(みんな同じかけがえのない人間、いじめ)

## □ 学研

「勤労、社会奉仕、公共心」

## □ 光村図書

「畏敬の念」(心の美しさや気高さ)

## □ 学校図書

「国際理解・親善」(世界の人たちと仲良くするために)

## □ 育鵬社

「人間愛」(墮胎の禁止)



# 「白旗の少女」 (東京書籍6年) の例



ヘンドリックソンさんと会えたときの富子は、どんな気持ちだったでしょう。



国際理解や親善のために、わたしたちにどんなことが出来るか、話し合ってみましょう。



そう言うヘンドリックソンさんの声も、カメラを持つ手も、ぶるぶるとふるえていました。

「富子、もう一度だけ、手をふって笑ってくれないか。」

ヘンドリックソンさんが言いました。わたしは、あふれるなみだをふりきって、カメラに向かって手をあげてほほえみました。

カチツとシャッターの音がして、フラッシュが光りました。そのときわたしは、

(ああ、四十三年ぶりにかたの荷がおりました。でも、これでわたしの沖縄戦が終わったわけではない。あんな不幸なできごとをくり返さないためにも、あの体験を語りつがなければ……)

と、心に決めたのでした。

『白旗の少女』(講談社)